

## 会長メッセージ

皆さんこんにちは

本会の事業もすべて終了し、4月24日に2人の監事に業務監査および会計監査をいただいたところです。この間常設委員会をはじめ各委員会を開催し、令和4年度の総括と新年度の事業計画及び予算を審議いただきました。それを受け5月10日に総務委員会を開催し、各委員会から報告された事業計画及び新年度の予算の確認、調整をし、5月17日第8回の理事会において審議をいただき、来る総会に上程する予定です。新年度の研修においては、北海道東北地域協議会主催の南部3県の研修会が福島県担当となっております。(令和5年4月3日地協会長会にて承認)ハイブリット研修となると思いますので、よろしくお願いいたします。先月は、各支部で定期総会が開催され、支部の新年度の事業計画及び予算が決定され、私自身も会長としてお招きいただき祝辞を申し上げたところですが、それぞれ支部の特色を生かした事業に改めて敬意を表するところです。(相馬支部の総会及び郡山支部総会には、出席できず書面の祝辞となり申し訳ありませんでした。)

さて、連合会では「ビジネスと人権」と社労士とのかかわりについて月間社労士を通して会員皆様へ伝えているところですが、今般改めて連合会会長より本会会長あて文書が発出されました。(本会ホームページ5/19情報ボックスにて通知)「ビジネスと人権」に精通した社労士を喫緊に養成するというものです。本年秋には各単会より数名規模でその養成が始まります。また連合会のeラーニングでもその基礎的な講義が受講できます。興味のある先生方がいらっしゃいましたらぜひ受講いただければと思います。

前述しましたが、来る6月9日は第46回定時総会を相馬市のホテル「飛天」にて開催予定です。案内が間もなく先生方に届くと思いますが、今総会は、コロナ禍前に戻し従来のような形でご来賓の方々をご招待し、総会終了後懇親会も予定しております。定時総会は、ご来賓の方々をお呼びし総会開催を祝うと同時に会の1年間の総括(事業及び会計決算)と新年度の事業計画とその予算を審議いただく重要な場と同時に、会員の親睦を図る一面もあります。そういう意味においても従来の形で開催できることを楽しみにしているとともに多数の会員先生方に参加いただければ幸甚です。

終わりに、今まで以上に「社労士ブランド」を上げ、社労士会が益々発展し同時に本会会員の先生方のご健勝を心より祈念申し上げ会長メッセージとさせていただきます。

令和5年5月19日

福島県社会保険労務士会

会長 穴戸宏行